

土木費 約8.8億円

誰もが安心して快適に暮らすことができるよう、町道や水路の整備等を行いました

一般土木事業	1億5,150万円	朝明ポンプ場維持管理事業	9,613万円
上古地内水路改良工事	3,147万円	四日市市が管理運営する朝明ポンプ場の大規模改修	
町道豊一福岡線道路改良工事	2,227万円	および維持管理にかかる費用を負担	

衛生費 約4.6億円

健康で生きがいのある生活の実現を目指し、健康づくり事業等を行いました

各種予防接種事業	6,868万円	各種検診(健診)事業	3,198万円
高齢者インフルエンザ(接種者1,386人)		大腸がん検診(受診者858人)、腹部超音波検査(受診者676人)、肺がん検診(受診者570人)	
子宮頸がん(接種者547人)			
小児用肺炎球菌(接種者530人)			
出産・子育て応援給付金支援事業	1,450万円	妊婦健康診査事業	1,573万円
全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、相談に応じる「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体として実施		妊娠中14回の健診と妊婦の口腔衛生の向上を図るための歯科健診を実施	

消防費 約2.4億円

生命と財産を守るため、消防、防災・減災対策に係る各種事業を行いました

災害用備蓄品充実事業	527万円	地区公民館災害用備蓄品拡充事業	388万円
避難所の非常食、衛生用品および毛布等を購入		停電時の避難所環境の向上および避難所機能強化のため蓄電池を購入	
体験型避難所設営訓練事業	169万円		
避難所の開設を円滑に進められるよう訓練を実施			

特別会計決算

◆介護保険

歳入歳出とも増加

介護保険制度は、介護や支援が必要な状態になったときに、安心してサービスを受けられるよう相互扶助による社会保険制度です。被保険者の保険料と公費を財源として、介護サービスの保険給付や介護予防などの事業を行います。

第1号被保険者数
2,915人(令和7年3月末現在)

要介護認定者数
454人(令和7年3月末現在)

主な事業
介護サービスに係る保険給付費
7億1,714万2千円

◆後期高齢者医療

歳入歳出とも増加

後期高齢者医療制度の運営は県内全市町が加入の三重県後期高齢者医療広域連合で、被保険者は75歳以上の方で、市町は保険料の徴収と被保険者からの申請・届出等の窓口となります。

被保険者数
1,683人(令和7年3月末現在)

主な事業
後期高齢者広域連合納付金
2億554万7千円

◆国民健康保険

**事業勘定は歳入歳出とも減少
診療施設勘定は歳入歳出とも増加**

国民健康保険は被保険者の相互扶助に支えられた地域医療保険として、加入者の健康保持と福祉の向上に大きな役割を果たしています。主に保険税やその他の収入金を財源として、保険給付を中心とする事業を行います。

被保険者数
2,098人(令和7年3月末現在)

主な事業
国保加入者に係る保険給付費
7億4,996万円

(単位:千円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	前年度との比較				
				歳入	増減率	歳出	増減率	
特別会計	国民健康保険	1,329,457	1,295,329	34,128	△56,378	△4.1%	△64,503	△4.7%
	事業勘定	1,172,035	1,140,470	31,565	△62,148	△5.0%	△74,577	△6.1%
	診療施設勘定	157,422	154,859	2,563	5,770	3.8%	10,074	7.0%
	介護保険	896,972	868,174	28,798	25,698	2.9%	20,247	2.4%
	後期高齢者医療	214,640	209,516	5,124	18,527	9.4%	16,651	8.6%

令和6年度に実施した主な事業

民生費 約26.7億円

子育て支援、障害者福祉、高齢者福祉等それぞれの分野において、みなさんが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう各種事業を行いました

児童手当支給事業	3億1,442万円	障害者自立支援給付事業	3億463万円
児童の健やかな成長と生活の安定に寄与するため、18歳年度末までの児童に児童手当を支給		障害のある方の、自立と社会参加を促進するため、介護や訓練等のサービスを給付	
福祉医療費助成事業	1億5,285万円	ふれあいバス小型化による運行事業	2,359万円
18歳までの子どもや一人親家庭、障害のある方に対しての医療費を助成		車両の小型化、ルート、ダイヤの見直しなどリニューアルを行い、より利便性の高いふれあいバスに改善	
川越幼稚園幼保連携型認定こども園化改修基本設計事業	528万円		
川越幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行に向けた改修の基本設計業務を実施			
ボランティア活動拠点施設指定管理事業	190万円		
ボランティア活動拠点施設「ささえあい」の運営を川越町社会福祉協議会に委託し、施設の適正な管理と町内のボランティア活動の啓発、育成、相談等を行った			



教育費 約20.3億円

安全で快適な環境の下で学べるよう、学校施設の修繕のほか情報活用能力向上等の環境整備事業の実施等を行いました

中学校整備事業	5億6,849万円	地区公民館長寿命化改修事業	4億2,435万円
老朽化した中学校の建て替え工事の実施、仮設校舎の建設および機器の移設等を実施		各地区公民館の長寿命化を図るため、公共施設個別施設計画に基づく改修工事、実施設計を実施	
小中学校ICT環境整備事業	1億4,903万円	外国語教育指導事業	2,024万円
小中学校の児童・生徒1人に1台タブレット端末等を整備し、機器を使用して情報活用能力の向上を図った		外国語に対する興味・関心を持ち国際理解を深めるため、外国人英語指導助手(ALT)による外国語活動・教育を保育所、幼稚園、小学校、中学校で実施	
就学援助事業	1,907万円	家庭教育支援事業	102万円
経済的理由で就学困難な児童・生徒および特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を実施		地域全体で家庭教育を支え、地域の子どもは地域のみんなで育てる意識を醸成するため、子育て応援啓発事業のキックオフ宣言を行い、記念講演会を開催	



総務費 約9.7億円

行政運営の全般的な管理事務にかかる事業等を行いました

自治体システム標準化事業	2,231万円	衆議院議員総選挙	1,389万円
自治体の情報システムを標準化を実施し、住民の利便性の向上および行政運営の効率化を図る		令和6年10月27日の第50回衆議院議員総選挙執行に伴う費用	
第7次川越町総合計画後期基本計画策定事業	717万円	防犯カメラ設置事業	228万円
「第7次川越町総合計画後期基本計画」の策定に向けて、これまでの施策・事業の実績評価を行うとともに、住民意識調査を実施		通学路や危険箇所などに99台の防犯カメラを稼働させ、犯罪抑止力の向上に務める	